

先週せんしゅうの主日しゅじつ、わたしたちは聖霊降臨せいれいこうりんを記念きねんし、改めてあらたわたしたちが聖霊せいれいの導みちびきに従したがって生きることを願ねがいながらその祭日さいじつを祝いわいました。聖霊せいれいが下くだされたのは、信しんじる人々ひとびとがその聖霊せいれいを通とおしてイエス様さまと共にとも生き、また、働はたらくようにとするためです。併あわせて、聖霊降臨せいれいこうりんによってイエス様さまはご自分の喜よろこびを私わたしたちにも与あたえられ、わたしたちがその喜よろこびの中で信しん仰ごうの道みちを歩あゆめるようにしてくださいました。その喜よろこびとは、イエス様さまが神様かみさまの小羊こひつじとしての使命しめい全まうされて得えられた喜よろこびなのです。イエス様さまは人間にんげんを救すくおうとされた神様かみさまの救すくいの計けい画かくを果はたすためにご自身じしんを捧ささげましたが、それはイエス様さまの喜よろこびでもありました。その同おなじ喜よろこびを、イエス様さまは聖霊降臨せいれいこうりんを通とおしてわたしたちにも与あたえてくださいました。言いい換かえれば、聖霊降臨せいれいこうりんによって私わたしたちは自分自身じぶんじしんが救すくわれたという喜よろこびを得え、さらに、自分じぶんがイエス様さまのように働はたらく人ひととして神様かみさまに認みとめられたことの喜よろこびも頂いただということことです。その喜よろこびについて、イエス様さまはかつて山さん上じょうの垂訓すいくんで、喜よろこびなさい。大おおいに喜よろこびなさい。天てんには大おおきな報むくいがある。」とおおっしゃいました。信しんじる人々ひとびとがどんな状じょう況きょうに遭あっても喜よろこびの中なかで生きることができいるのは、聖霊せいれいを通とおしてイエス様さまと共にとも生きているからでしょう。

今日きょうは三位一体さんみいつたいの祭日さいじつで、聖霊降臨せいれいこうりんによってはつきりと示しめされた神様かみさまの特とく別べつな神しん秘びについて黙想もくそうし、その神しん秘びにわたしたちも与あずかることができる恵めぐみを祈いのり求もとめる日ひです。今日きょうの福ふく音いんで、イエス様さまは昇しょう天てんされる前まえ、弟でし子したちやまに指しゅつ示げんしておかれた山やまでご出しゅつ現げんになりました。そこでイエス様さまは彼かれらに福ふく音いん宣せん教きょうの使命しめいをお授さずけになり、「行いって、すべたみの民たみをわたしの弟でし子しにしなさい。彼かれらに父ちちと子こと聖せい霊れいのなによって洗せん礼れいを授さずけ、あなめいたがたに命めいじておいたことをすべまち守おしるように教おしえなさい。わたしは世よの終おわりまで、いつもあなともたがたと共ともにいる。」とおおっしゃいました。このイエス様さまの御言みことばはとてだい事じなまねお招まねきで、この御言みことばによって弟でし子したちは勿もち論ろん、彼かれらはたらきによつて信しん仰ごうの道みちを歩あゆむすべひとびと、三さん位みいつたい一しん体びの神しん秘びに与あずかることができるよう招まねかれているわけです。



ちがそのように働いたなら、私たちもイエス様と同じ栄光と永遠の命をいただけるのは、すでに決まっていることでしょう。

さて、御父と御子と聖霊はどのように一つとなっておられるのでしょうか。この謎のような三位一体の神秘は、勿論、人間には理解できないものです。しかし、「キリストによって、キリストと共に、キリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は代々に至るまで。アーメン。」という言葉が、あるヒントを与えてくれるようです。御父と御子が分かち合えることもなく完全に一致し、また、互いに完全に理解し合っておられるのは、聖霊によることだと思います。聖霊は御父と御子から出る方で、御父と御子との愛の絆を示される方だと言われます。その完全な愛である聖霊はわたしたちにも与えられ、わたしたちも御父と御子の一致のうちにいることができるのです。逆に言うと、愛がなければ、わたしたちは決して三位一体のうちにいることができないということです。実は、ミサの中で、わたしたちは何回も繰り返して、別の形で三位一体の神様を賛美しています。例えば「父と子と聖霊の御名によって。アーメン。」とか「栄光の賛歌」、「使徒信条」、そして先ほど唱えた讃美歌、最後の祝福などがありますが、その中で次のような箇所もあります。「まことに尊くすべての聖性の源である父よ、今聖霊によってこの供え物を尊いものにしてください。わたしたちのために主・イエス・キリストの御体と御血になりますように。」ミサは三位一体の愛の御業でしょう。愛がなければ、三位一体の神秘は勿論ミサにも正しく与えることはできません。わたしたちがいつもその三位一体の愛にとどまり、互いに愛し合い、尊重し合い、理解し合い、支え合うことができるよう、お祈りいたします。